

※1急性期型病院：救急医療や高度医療等を担う病院

◆新年度の予算について

①国の予算編成について所見を。②新年度予算の工夫や配慮は。③財調協議の内容と、再調整の動向を。④中長期的な財政の展望は。

①自治体の新たな財政負担を懸念。②所要経費の精査。基金と起債を活用し財源を確保。③臨時的財源対策650億円超を実施。23年度は7億円追加を想定。④基金と起債を活用し持続可能な財政運営。

◆中小企業振興について

①中小企業の振興策は。②融資あっせん制度の更なる運営策を。③プレミアム付区内共通商品券の更なる効果策を。④雇用助成制度の促進を。

◆区民生活

①新規創業を拡大する施策も推進。②特別貸付の実施等。③区商店街連合会と連携し支援。④引続き推進。◆地域医療について

◆区長の基本姿勢について

①今後の震災対策は。②防災計画の周知を。③具体的な訓練を。④地域コミュニティの拡充を。⑤区内の中小企業、商店街の支援策は。⑥行政改革推進プランの考えは。⑦小中学校、保育園の給食の放射性物質測定を。⑧区民事務所と出張所のあり方の十分な検討を。⑨出張所機能の補完対策と、不足時の見直しを。

◆区長

①修正した防災計画を3月に策定予定。②説明会等で周知。③帰宅困難者への対応訓練等実施。④支援体制強化。⑤プレミアム付区内共通商品券の発行等。⑥強固な財政基盤を築く。◆教育長

⑦今年度中に独自検査。◆区民生活

⑧出張所は窓口業務を見直し、区民事務所は増設を検討。⑨郵送手続き等の窓口機能の代替方策等。状況に応じ改善。

①東京都保健医療計画の改定について、他区と連携して積極的な働きかけを。②新病院の用地選定の状況と今後の予定は。急性期型病院を。③地域医療計画の検討状況と、主な内容は。また、都の計画

未来へつなぐ、わがまち練馬の実現を目指す

練馬区議会自由民主党 かしわざき 強

との整合は。さらに、日大光が丘病院の後継病院の今後の対応は。④在宅での療養を支える仕組みを。

◆区長

①見直しを強く要請。②具体的候補地の選定中。26年度に基本構想策定。急性期の整備も検討。③病床確保を含めた医療提供体制の整備等。都計画と整合図る。計画策定

◆新年度予算について

①新予算の選択と集中は。②平成23年度の基金残高は。③基金と起債の考えは。④全児童の放課後居場所作りを。

◆区長

①災害対策の強化等に重点的に配分。②約550億円。

健全な財政運営で区民福祉を守れ!

練馬区議会公明党 宮原 義彦

③計画的に活用。◆教育長

◆就労支援について

①ハローワークと就職支援サイトの連携強化を。②中小企業者へ就職支援サイト登録支援を。③トライアル雇用への拡充を。④二ト等の若者への就労支援を。⑤セミナー開催時に保健師の協力を。⑥

検討委員に同法人関係者を加える。④ネットワークを構築。◆学校の防災対策について

◆学校

①防災教育の充実を。②区独自の指導の手引きを。③給食食材の区独自の放射能検査を。子ども達に給食を提供

◆環境まち

①発災時の活用も視野に入れて計画。②まちづくり懇談会で協議。③検討中。

◆地下鉄大江戸線延伸の導入空間となる補助23号線について

①進捗状況は。②沿道まちづくりについて、大江戸線延伸を見据えた計画を検討すべき。その方向性と今後の取り組みは。また改めて、風致地区について、区として今後どのように取り組むのか。

◆環境まち

①24年度末に土支田通りまで工事が完了。②まちづくり協議会等で議論する。関係機関と協議する。

◆電力料金について

①東京電力の値上げ後の区の負担は。②入札による電力購入の効果は。③区長会として緊急要望書の提出を。

◆環境まち

①年間1億2千万円余の負担増見込み。②24年度は年間約1千300万円の節減見込み。③国等に電力需給対策の速やかな提示を求める。

◆公共事業を区内事業者に優先発注する仕組みづくりを

①優先発注基準額の引き上げを。②区内本・支店の発注に差別を。③多くの事業者に受注機会を与える仕組みを。④区内事業者を加点要素に。

区政を問う

一般質問(要旨)

1を中心に体制構築。②③検討。④学校と協議。⑤努める。

◆成年後見制度について

①区独自の後見人養成を。②権利擁護センターの体制強化を。③制度の周知を。④地域福祉権利擁護事業の周知を。

◆健康福祉

①検討。②必要に際し対応。③権利擁護センターと協議。④積極的に周知。

◆中学校選択制度について

①教育長の率直な評価は。②中学校選択制度の見直しのための検討組織を。③小規模校への特別な支援を。◆教育長

◆電力料金について

①東京電力の値上げ後の区の負担は。②入札による電力購入の効果は。③区長会として緊急要望書の提出を。

◆環境まち

①年間1億2千万円余の負担増見込み。②24年度は年間約1千300万円の節減見込み。③国等に電力需給対策の速やかな提示を求める。

◆公共事業を区内事業者に優先発注する仕組みづくりを

①優先発注基準額の引き上げを。②区内本・支店の発注に差別を。③多くの事業者に受注機会を与える仕組みを。④区内事業者を加点要素に。

◆総務

①検討。②受注件数に差をつける。③受注機会の公平性確保に努める。④改善。

◆行政改革推進プランについて

①児童青少年施設の委託化率が低い理由は。目標数を更に高く。②職員の意識改革事業について

◆環境まち

①無料自転車点検整備と合わせた安全教室での免許証発行等で自覚を促す。③機会を捉え積極的に努める。

◆西武新宿線の連続立体交差事業について

①竹島・尖閣の領土問題は明確に指導を。②大阪市長提唱の「教育基本条例」への見解は。③外部指導者の活用による武道授業の環境整備を。

◆教育長

①正しく分りやすい授業の実施に努める。②動向を注視。③充実に努める。

◆仮称ねりまシティマラソンについて

①実施に向けたスケジュールを。②経済効果の検証を。③本大会の実現に向けた区長の決意を。

◆区長

①平成26年度開催を目指す。②実行委員会を検証し取り組みを決定。③区を挙げて取り組む機運を高めていく。

◆高齢者施策について

①認定ファンドレイザー資格取得者の後押しを。②NPOを活用し乗降介助制度を。③水と緑のネットワーク化について

◆高年齢者施策について

①認定ファンドレイザー資格取得者の後押しを。②NPOを活用し乗降介助制度を。③水と緑のネットワーク化について

◆環境まち

①石神井川隣接公園を親水公園に整備し、沿道には緑の回廊・遊歩道・サイクルロードを。②練馬城址公園整備については、給水や調整池の設置、スポーツ施設の設置を。

◆環境まち

①都に働きかける。②提案踏まえ都に要望。

◆自転車対策について

①土日の講習会開催、認定書や自転車点検整備、交通保険のサービス。②免許制度、ナンバープレートの検討を。

◆健康福祉

①低所得者対策の充実に努める。②介護人材育成研修センター等を活用。高齢者相談センターに窓口を設置。警察と協議し免許制度を研究。

◆環境まち

①講習会参加者へ無料点検整備事業を開始。②警察と協議し免許制度を研究。

◆商店街支援について

①買い物弱者対策を。②商店街の体力強化・集客力増

◆健康福祉

①低所得者対策の充実に努める。②介護人材育成研修センター等を活用。高齢者相談センターに窓口を設置。警察と協議し免許制度を研究。

再生可能エネルギー施策への転換を!

練馬区議会公明党 吉田 ゆりこ

導入と入札による電力購入を。③電気の見える化の普及を。

◆環境まち

①充実について検討。②更なる設置を検討。24年度は120箇所競争入札を実施。③機器の設置、普及啓発に取り組み、見える化推進。

※2ノーマライゼーション：高齢者や障害者などが、健康者と一緒助け合いながら暮らしていくのが正常な社会のあり方であるとする考え方

※3ファンドレイザー：ファンドレイジング(NPOなど非営利団体の活動のために、寄付を集める行為)に携わる人

◆区長の基本姿勢について  
 ①厳しい財政状況下における「選択と集中」の観点から、不要不急の事業については廃止を含め大胆に見直す。来年度予算編成の基本的な考え方は、②事務事業の外部評価を来年度予算編成にどのように生かしたのか。③持続可能な財政運営のための財源確保と自主財源強化の推進を。④今年度行われた補助金見直しの成果は。⑤補助金の見直しの審査基準や成果指標を可能な限り設定すべき。

◆区長  
 ①選択と集中を一層徹底。災害対策の強化等、長期計画に定めた区政の喫緊の課題に重点的に配分する。②指定管理者制度導入等5事務事業を改善等。③計画的な基金の活用を努める。収納・滞納対策の強化等、様々な観点から財源確保に努める。

◆補助金のあり方の再検討等の効果があった。⑤努める。  
 ◆容器包装リサイクル法の改正に伴う区の姿勢について  
 ①容リ法改正に向けた国の動きに対する区の認識は。②最近のトレンドである2R

◆生活保護制度について  
 ①稼働能力のある生活保護受給者に対する自立支援にあたっては、就労に直接結び付く取り組みの強化を。②不

### 「選択と集中」の更なる推進を

練馬区議会民主党 無所属クラブ 土屋 ひつこ

④削減「リデュース」、再使用「リユース」に対する区の取り組みは。③区立のリサイクルセンターの委託事業における2Rの位置づけは。

◆環境まち  
 ①製品プラスチックのリサイクルについては資源化を図れるような制度の見直しが必要。②他の自治体とも連携し、ごみの減量と資源

◆健康福祉  
 ①現在年間400件以上の実績。4月から就労サポートを配置し、きめ細かな支援を行う。②警察当局と連携を強化。③経済的な支援策だけでなく、生活上の課題に

も窓口の支援の向上等で対応。  
 ◆母子健康手帳について  
 ①10年ぶりの母子健康手帳改正にあたり、育児情報などを盛り込んだ「新母子健康手帳」の採用を。また、改定にあたってはワークシopp方式を取り入れるべき。②成人までの成長を記録できる手帳の検討を。③情報端末から利用できる母子健康手帳の電子化の検討を。

◆健康  
 ①新母手帳は情報量や構成を含め研究。ワークシoppは次回の改定時に検討。②区民の要望を踏まえ検討。③モデル事業の結果を踏まえ研究。

◆財政構造の諸課題について  
 ①財源配分の現状は。②長期計画の後期実施計画での基金残高の見直し。③受益者負担見直しの具体的施策を。④防災機能を有する公園には、避難経路の確保を。⑤メリーゴランド「カルーセル・エルドラド」の存続を。また、現時点における「日立

◆ねりま未来プロジェクトについて  
 ①としまえんが無くなり公園となるが、今後どうなるか区の所見を。②防災の観点からもプールを残す必要がある。

◆区長の基本姿勢について  
 ①無駄遣い続けながら増税する社会保障と税の一体改革は、国民生活に壊滅的打撃を与える。国に中止を求めよ。

◆区長  
 ①無駄遣い続けながら増税する社会保障と税の一体改革は、国民生活に壊滅的打撃を与える。国に中止を求めよ。

◆区長  
 ①としまえんの持つ歴史的価値・文化的価値を生かす整備」等を基本的考え方とし、再検討。②災害時に水を確保できる施設と認識。③にぎわい空間の創出等が期待できる。④⑤検討する。

◆練馬駅北口有地の活用について  
 ①事業者の契約解除対策  
 ①認知症グループホーム等を定め、着実に実施。③調査より助成充実を優先実施。

### 「としまえん」はどうなるのか！

練馬区議会自由民主党 田中 ひでかつ

キャピタルグループとの協議状況と入居スケジュールを。④委託により編集業務の更なる効率化が求められるが、対応は。①正月号を除く1日号を12ページに、特集記事等の文字サイズを拡大等。②喫緊の課題提起の記事等、充実を図る。③体制を維持。④職員削減等で経費削減を図る。

◆区報の充実について  
 ①具体的な見直し内容を。②政策的な紙面の拡充を。③作成の委託後も緊急時には柔軟に対応できる体制を。④委託により編集業務の更なる効率化が求められるが、対応は。



◆区長の基本姿勢について  
 ①震災後の原子力発電への認識は。②PPSは経費削減だけでなく、市民が選べる電力自由化として進めよ。

◆環境  
 ①国等の動向に注視して対応する。②電力自由化等への対応にとどまらず、環境にも配慮した電力調達とする。

◆コミュニティ活性化について  
 ①西武新宿線沿線に区民事務所増設を。②地域コミュニティ活性化プログラムで出張所を地域自治の拠点に。

◆介入保険について  
 ①介護サービスの時間区分改定の影響と対策は。②子育て・介護の複合問題の認識と対応は。総合相談窓口の設置または高齢者相談・子ども家庭支援センターの連携を。

◆子ども権利擁護について  
 ①保健福祉サービス苦情調整委員会に専門部会を設置せよ。②教育委員会が児童福祉を担う認識は。③子どもの権利条約について考えを示せ。

◆区長  
 ①としまえんが無くなり公園となるが、今後どうなるか区の所見を。②防災の観点からもプールを残す必要がある。

◆ねりま未来プロジェクトについて  
 ①としまえんが無くなり公園となるが、今後どうなるか区の所見を。②防災の観点からもプールを残す必要がある。

◆区長  
 ①としまえんの持つ歴史的価値・文化的価値を生かす整備」等を基本的考え方とし、再検討。②災害時に水を確保できる施設と認識。③にぎわい空間の創出等が期待できる。④⑤検討する。

◆練馬駅北口有地の活用について  
 ①事業者の契約解除対策  
 ①認知症グループホーム等を定め、着実に実施。③調査より助成充実を優先実施。

※5 大深度法：大深度地下の公共的使用に関する特別措置法の略称

◆防災計画について

①大震災後の被災者への区の対応についての総括を。②今後予想される首都圏災害への新たな防災計画は。

◆危険管理 ①受け入れ施設として必要な機能や人員の配置等、様々な教訓を得た。②都の計画見直しを踏まえ再修正。

◆予算編成について 財政の担い手である現役世代への総合的な支援メニューの具体案を。

◆区長 保育所待機児童対策や放課後子どもプランの充実等の、子ども子育て世代支援の予算を全体の約30%計上。

◆基盤整備について ①都立防災公園(練馬城址公園)計画の進捗状況は。

②多目的スタジアム設置について都と日本サッカー協会が話し合いがあるとの報道について。③大泉学園通りのヤマ

夕電機付近までの大江戸線延伸整備への見解は。④補助230・233号線の工事の進捗状況は。

⑤外環道建設再開に対する区の見解は。⑥外環道建設に適用の大深度法について、地元への説明はいかに。

◆健康福祉 ①水準確保の条件

住みたくなくなる町へ、練馬の未来を築こう

練馬区議会みんなの党 しもだ 玲

◆企画 ①具体的な整備内容は今後検討。②承知していない。

◆都市整備 ③実現に邁進。④230号線は、笹目通りから土支田通りまでは24年度完了予定、大泉学園通りまでは28年度完了目指し都が施行。233号線は、27年度までに優先的に整備すべき路線との位置づけ。⑤早期完成に向け働きかける。⑥

◆教育について 光が丘地区の区立幼稚園「廃園」を「統合」等により変えよ。また、2015年に予定される総合こども園への早急の対応を要望する。

◆外環と対応の方針について ①直轄分1兆円にもなる国・都の財政負担をどう考えるか。②換気所脱硝装置の設置は。③大泉JCT立坑位置設計変更の意味は。④青梅街道インターは交通量削減効果も限定的。設置から見直しを。

◆区長 ①投資を上回る大きな効果に期待。②国に働きかける。③周辺地域への工事の影響を極力抑える。④設置の考えに変わりなし。

◆石神井公園駅南地区の地区計画について

①防災に口実に132号沿道の容積・建ぺい率を緩和するな。②商店街道路沿い地権者は合意しているのか。③拙速に石神井公園周辺の魅力を活かすまちづくりを。

◆都市整備 ①防火地域の取り扱いを協議中。容積率等は地域にふさわしい内容を定める。

◆保健福祉について ①日大練馬光が丘病院撤退後の後継法人に現在の医療水準が確保できるのか。②地域小児救急医療への対応は。

◆自立幼稚園廃園計画について ①区立でも3年保育を。私立はなぜ反対か。②幼稚園のある住棟管理組合は廃園に同意しているか。③公平性や平等性が確保される公共の教育機関として区立の再生を。

◆教育について ①就園需要が減少して影響は必至。②説明会、

◆自転車利用の問題について ①安全運転への施策は。②安全で安心な自転車利用を、区でスローガンを作り、広く区民に呼びかけよ。

◆文化推進・生涯学習について ①牧野富太郎生誕150年記念事業に映画上映等幅広い展開を。②フィルムコミッション活動は、区民有志の協力による情報収集の仕組み構築を。

◆産業地域 ①映画上映は検討する。②先進事例の取り組みを検証しつつ検討する。

◆教育について ①就園需要が減少して影響は必至。②説明会、

深刻な光が丘病院 区長の責任と決意を問う

生活者ネット・市民の声 池尻成一

10ペクレル程度の検査。

◆家賃転倒防止助成について ①高齢者・障害者のみならず世帯に限定するな。②工賃だけでなく器具代も助成対象に。③申請の増加見込まれ、当面、現行事業を継続。④防災用品あつせん事業を案内。

◆改正障害者基本法について ①基本的認識は。②法改

◆地域防災計画について ①被害想定は、ライフライン使用不能で想定を。②要援護者の安否確認の仕組みは。

③防災対策グッズで町会加入促進を。④備蓄物資の使用基準を。⑤定期的な避難訓練を。⑥避難拠点のバリアフリー化を。⑦防災会育成システムを。

◆危機管理 ①避難拠点に生活に必要な資機材等を備蓄。②検討中。③物資あつせん等の周知に努める。④帰宅困難者も同様に対応。⑤支援強化。⑥学校改修時等に進める。⑦PTA等との連携見据え、地域に密着した支援に取組む。

◆教育について ①就園需要が減少して影響は必至。②説明会、

◆区財政について ①選択と集中の基準は。②各事業自体の存続意義を見直すべきではないか。③将来世代は今の福祉サービスを享受できるのか。④行政はどこまでがその役割だと考えるのか。

◆区長 ①災害対策、保育所待機児童対策、特別養護老人ホーム整備等の計画事業が中心事業を検証し改善。③選択と集中の徹底、計画的な事業執行でサービスの水準を維持・向上。④社会情勢の変化を受け、事業目的や意義を点検・検証。

◆区長 ①災害対策、保育所待機児童対策、特別養護老人ホーム整備等の計画事業が中心事業を検証し改善。③選択と集中の徹底、計画的な事業執行でサービスの水準を維持・向上。④社会情勢の変化を受け、事業目的や意義を点検・検証。

◆区長 ①災害対策、保育所待機児童対策、特別養護老人ホーム整備等の計画事業が中心事業を検証し改善。③選択と集中の徹底、計画的な事業執行でサービスの水準を維持・向上。④社会情勢の変化を受け、事業目的や意義を点検・検証。



◆教育振興基本計画について ①具体的な施策は。②学校単位で子育て支援の充実を。③避難訓練は子ども、両親、先生、地域と一体となり実施を。④学校でICTの活用を。⑤特別教室に空調機の設置を。

◆教育長 ①②指導計画資料を小中学校別に作成し課題を位置づけ、授業で活用。③研究について

◆子ども関連の組織改正について ①所見を。②小1プロブレムの取り組みは。

◆教育長 ①家庭教育の定着を促す点で重要。②就学前教育のあり方を検討し、進める。

◆運動場整備について ①進捗状況は。②練馬総合運動場や大泉さくら運動公園の運動場を人工芝に。③運動場や体育館等のスポーツ施設、スポーツ環境の整備を。

◆環境まち ①都と協議を進める。②検討。③取り組む。

◆みどりバスについて ①ルート近隣の住民にチラシの配布を。②運行ルート再編の検討状況を。③車内広告とバス停への広告の募集を。

◆環境まち ①効果的に周知。②今年度末に案をまとめる予定。③運行事業者等と調整。

◆防災について ①東京都の防災隣組に練馬区としての対応は。②区民防災組織に若い世代の取り込みを。③区民防災組織にもつと行政が協力を。④災害が起きた場合の行動を行政が整理するべき。⑤町会、PTAや育成委員会が合同で防災について協議する場を。⑥提案について、防災意識の高い「今」こそスピーディーな対応を。

◆危機管理 ①進捗状況を注視。②若い世代の参加が欠かせない。きめ細かに支援する。③分かりやすい情報提供等、積極的に働きかける。⑤⑥一

◆児童青少年 ①定義規定がないので把握は困難。②③児童福祉法の徴収の考えに基づき設定。高所得者層については学力向上の具体策にも努める。

未来を担う子どもたちのために！

練馬区議会自由民主党 むらまつ 一希

◆教育長 ①②全区的に展開。課題解決に必要な思考力等の資質や社会貢献精神等を育成。

◆子育て支援について 待機児童対策と効果は。

◆区長 22年度から3年で千600人超の定員増。後期実施計画で約2千700人にまで積み増す。

◆幼保一元化について 今後の方針を。

◆防災について ①東京都の防災隣組に練馬区としての対応は。②区民防災組織に若い世代の取り込みを。③区民防災組織にもつと行政が協力を。④災害が起きた場合の行動を行政が整理するべき。⑤町会、PTAや育成委員会が合同で防災について協議する場を。⑥提案について、防災意識の高い「今」こそスピーディーな対応を。

◆危機管理 ①進捗状況を注視。②若い世代の参加が欠かせない。きめ細かに支援する。③分かりやすい情報提供等、積極的に働きかける。⑤⑥一

◆児童青少年 ①定義規定がないので把握は困難。②③児童福祉法の徴収の考えに基づき設定。高所得者層については学力向上の具体策にも努める。

◆教育長 ①家庭教育の定着を促す点で重要。②就学前教育のあり方を検討し、進める。

将来の幸せを前借りしない 持続可能な財政を

練馬刷新の会 じじい啓一郎

◆教育長 ①②全区的に展開。課題解決に必要な思考力等の資質や社会貢献精神等を育成。

◆子育て支援について 待機児童対策と効果は。

◆区長 22年度から3年で千600人超の定員増。後期実施計画で約2千700人にまで積み増す。

◆幼保一元化について 今後の方針を。

◆防災について ①東京都の防災隣組に練馬区としての対応は。②区民防災組織に若い世代の取り込みを。③区民防災組織にもつと行政が協力を。④災害が起きた場合の行動を行政が整理するべき。⑤町会、PTAや育成委員会が合同で防災について協議する場を。⑥提案について、防災意識の高い「今」こそスピーディーな対応を。